

# 第3章 生活する／住居 1

## (1) この章の到達目標

- 1 自分の住んでいる地域のゴミ出しのルールを理解する。
- 2 騒音が、隣人や近所迷惑になる場合があることを理解する。
- 3 寮・アパートは借りているものであり、清潔に利用し、元の状態で返さなければならないことを理解する。
- 4 自然災害が発生した際の行動を把握する。
- 5 町内会・自治会の制度を知る。

## (2) 指導する上での心構え 1

- この章で学ぶことをきちんと理解し、実践できていないと、近隣住民とのトラブルが発生する場合があります。自国には無いルールのために、一度学んだだけでは間違えたり、身に付かないこともありますので、きちんとできるようになるまで、根気強く指導してください。
- **ゴミの分別** ゴミの分別は、環境への意識が高い日本人にとっては当たり前ですが、**来日間もない外国人にとっては複雑で分かりにくい、初めての経験**です。また、そのことを日本人側が理解し、伝える必要があります。どうしてゴミの分別をしなければいけないのか、守らない場合はどのようなことが起こるのか、詳しく説明してください。
- **騒音** 騒音トラブルは、**外国人が日本人の生活スタイルを理解していないことが主な原因**です。単身で来日している場合、仕事がない日は親しい友達と集まり、夜遅くまで飲んだり話したりするというのは、彼らにとっては楽しいコミュニケーションであって、周囲から理解されなかったり、迷惑だと思われるとは考えていない場合もあります。
- **寮・アパート** 外国人の中には、自分が住んでいる住居をこまめに掃除するという習慣がない場合があります。床の油汚れ、壁の損傷（カビ、油汚れ）、悪臭、風呂場のカビなど、**特に共用部分をきれいに使用せず、退去時にトラブルになる事例がある**ようです。清掃を徹底させるには、**どこを、どのくらいの頻度で、どの程度まで掃除をするのか、明確に指示することが効果的**です。清掃方法や、掃除に使う道具等もきちんと説明しましょう。また、汚損等があれば、退去時にクリーニング代を請求されることを、入居時にあらかじめ説明しておくことで清掃をする動機付けになります。

第3章 生活する／住居

日本で生活するうえで、ゴミ出しや騒音のルールについて学ぶことは、とても大切です。また、日本は自然災害が多い国です。災害のときどうしたらいいのか、学びましょう。

### 3-1 ゴミの出し方

- ゴミには種類があります。
- ゴミを捨てる日や時間、袋は決まっています。
- 捨ててあるゴミを、持って行ってはいけません。

ゴミ出しのルールや袋は、住んでいる区市町村によって違います。区市町村で確認しましょう。

**燃えるゴミ**  
生ゴミ、紙くず、ティッシュペーパー など

**燃えないゴミ**  
傘、はさみ、やかん、うなぎ、スプーン など

**資源ゴミ**  
空きびん、空き缶、ペットボトル、プラスチック類、雑誌 など

**粗大ゴミ**  
自転車、たんす、布団 など

● 自分で持っていく  
● 取りに来てもらう  
※お金がかかることがあります。  
※お金の確認しましょう。



この章のおすすめワーク (3-1,3-2,3-3)	
3-1 ゴミ	①動画を見て、ゴミの分別について確認する。
	②各区市町村が配布しているゴミの分別表を配り、住んでいる地域のゴミの捨て方を確認する。
	③どのゴミをどの袋に入れるのか実際の指定袋を用いて確認する。
3-2 騒音	①動画を見て、騒音トラブルの事例を知る。
	②騒音になりうる音量について電子機器等を利用して説明する。
3-3 寮・アパート	①掃除当番表や掃除日課表を作成して、見える場所に掲示する。
	②住居内の各場所の掃除の仕方を説明する。
	③どの程度、何を使用して清潔にするのか示すため、住居に行き、実際に掃除をして見せる。

### (3) 外国人がつまづきやすいポイント 1

#### つまづき事例

- ①自分の国ではゴミ出しのルールがないので、初めて日本に来た時に非常にびっくりした。燃えるゴミか燃えないゴミか区別しにくいため、同じ袋にまとめて入れて捨てたら近隣住民から怒られてしまった。
- ②友達と近所の公園でサッカーをしていたら、周囲の日本人に怖がられて「集まって騒いでいる」と会社に連絡が入ってしまった。

**油の捨て方**  
使った油を、そのまま捨てると排水管が詰まります。正しく捨てましょう。  
◆ 牛乳パックを使うとき 紙 溜 水  
◆ 新聞紙を使うとき 紙 テーブルで巻く  
\* 資源物はドラッグストアで売っています

**3-2 騒音**  
■ 日本では夜9時を過ぎたら静かにしましょう。  
■ 日本の家は狭く、隣の家と距離が近いので、大きな音や声を出すと近所迷惑です。騒がしいと苦情が来ることがあります。

**3-3 寮・アパートの使い方**  
寮・アパートで生活するときは次のことに気をつけましょう。また、日本人は、きれいな人が多いので、住む場所を清潔にしておくために、よく掃除をします。  
週に1回以上は部屋中掃除をする習慣を身に付けてください。  
■ 自分の家ではありません。掃除や換気をしてきれいに使いましょう。  
■ 廊下は共用スペースです。物を置くのはやめましょう。  
■ 壁に穴をあけてはいけません。  
■ 家の中では靴を脱ぎましょう。  
■ 空気が乾燥し、火事が発生しやすいです。次のことに気をつけましょう。  
①ストーブの真上に洗濯物を干してはいけません。  
②ストーブの近くにカーテンなど燃えやすいものを近づけてはいけません。  
③ごみ箱にタバコを捨ててはいけません。  
④ガスコンロ使用中は、その場を離れてはいけません。

<つかってみよう! にほんご>  
空缶は どこに 捨てれば いいですか。

#### 解決のヒント!

- ①日本でのゴミ出しのルールは、分別、回収場所、日時など、多岐にわたり、一度聞いただけで全てを理解して守ることは難しい場合があります。日常会話の中で「これは燃えるゴミですか? 燃えないゴミですか?」とクイズを出したり、「明日はプラスチックゴミの日だね」と話題にしたりすることで、日々意識付けしていきましょう。
- ②これまで外国人が住んでいなかった地域では、思わぬことでトラブルが生じてしまう可能性もあります。普段から地域の人とあいさつをするなどしてコミュニケーションの機会を増やし、地域のお祭りや行事などにも積極的に参加するよう促しましょう。そうすることで、地域に溶け込みやすくなります。

## 第3章 生活する／住居 2

### (4) 指導する上での心構え 2

#### 自然災害

- 「大雨が降ったら川が氾濫するかもしれない」「いざというときは、避難所に行く」「台風の日には電車が止まる場合があるので、不要な外出は避ける」これらの情報は、日本人にとっては当たり前のことですが、**災害が少ない国から来る外国人は、これらの知識を全く持っていない場合があります。**
- 身の安全を守るためにも、日本で起こりうる様々な自然災害について伝え、万一、災害が発生した場合の**行動を事前に伝えておく**必要があります。
- また、**避難所と経路を事前に確認**し、避難指示が発令した際に、慌てずに正しい行動がとれるように準備しましょう。

#### 町内会・自治会

- 町内会・自治会は、地域の人と交流し、安全で住みよい町を目指して活動する住民の組織です。愛知県内には、外国人も地域住民として積極的に行事などに参加している事例が多くあります。日本に来たばかりの外国人は、地域との交流を望んでいるものの、実際に交流の機会がある人は多くありません。町内会・自治会制度を利用し、**地域住民と交流することで、生活環境を整えるきっかけになるだけでなく、地域にとっても外国人への理解促進につながります。**入居する際、その地域の町内会長・自治会長に紹介するなど橋渡しのサポートをすることも有効です。

### コラム 外国人は地域の担い手

高齢化が進む地域においては、若い外国人が地域のお祭りや防災訓練などに中心となって参加するようになったことで、地域が活性化したという事例が多くあります。このように日頃から地域コミュニティに溶け込むことは、いざという時に日本社会で活躍することにも繋がります。例えば、2016年4月の熊本地震では、外国人自身も被災者でありながら、日頃支えてくれる地域住民のために避難所で炊き出し支援などを行いました。日本に来たばかりの外国人がスムーズに地域で暮らせるよう、積極的に地域住民との交流が持てるようサポートしましょう。

#### 3-4 自然災害が起こったら

- 災害の時は、本当か 噂か 分からない情報が 多くなります。テレビのニュースやインターネットなどで 正しい情報を よく確認しましょう。
- 日頃から 家の近くの避難所の場所や、職場への連絡方法を 確認しておきましょう。

##### 【地震】

- ゆれを感じたら ・テーブルの下に入って、身を 守ります。
- ・家具が 倒れてこない場所に 移動します。
- ゆれが止まったら ・ラックなどのガス漏れの火を 消します。
- ・ドアや窓を 開けます。



- 家を出るときは ・ガスの元栓を 締めて、電気のブレーカーを 落とします。

##### 【津波】

- ・地震が起きると、津波が くるかもしれません。
- ・海や川に 近づいてはいけません。
- ・津波は、強い、高い、速い波です。すぐに 高い場所へ 逃げてください。



##### 【台風・大雨・洪水】

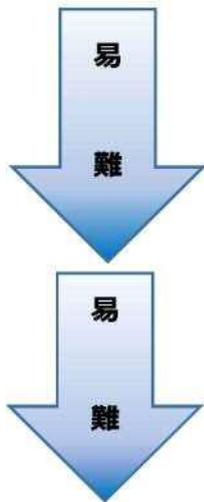
- ・大雨や強い風で、海の波が 高くなったり、川の水が 増えるため、危険です。
- ・台風が 強い時は、外に出るはいけません。
- ・電車が 止まったり、止まることも あります。

#### 3-5 町内会制度、自治会制度

- 同じ地域に 住んでいる人たちが みんなで 助け合い、住みやすい町に なるように 集まって活動している 住民団体です。入るか 入らないかは 自由です。
- 町内会・自治会の集まりや イベントに 積極的に 参加して、同じ地域に 住んでいる人たちと 交流しましょう。(例：防災訓練、地域の掃除、お祭り)
- 回覧板には 地域のお知らせが 載っています。順番に 次の人に 渡します。
- 災害が 起きたときに、助け合えるように 日頃から 交流しておきましょう。

<つかってみよう! にほんご>

●: 地震のとき、どうすればいいですか。



この章のおすすめワーク (3-4,3-5)	
3-4 災害	①地震が発生した際にどのように行動したらよいか、動画と一緒に確認する。
	②職場への連絡方法を一緒に確認する。
	③津波や洪水が発生した場合、情報を得る手段を伝える。
	④避難所と経路を一緒に歩いて確認する。
3-5 町内会制度 自治会制度	①住んでいる地域の町内会・自治会の活動やイベントを伝える。
	②回覧板とは何か、何が書かれているのか、受け取った後どうするのかを伝える。
	③住んでいる地域の町内会・自治会の活動やイベントと一緒に参加する。

## (5) 外国人がつまづきやすいポイント2

### つまづき事例

- ①地震が起きて、テレビで避難所に行くように呼びかけがされていたが、「避難所」の意味が分からず、いつも行っている母国料理のレストランに行き、そこでしばらく過ごした。
- ②避難所に行ったが、宗教上の理由から、提供された防災食に手を付けられなかった。日本語をほとんど話すことができなかつたため、宗教に配慮した食事があるかどうか尋ねることができなかつた。
- ③地域のイベントなどに興味はあるが、誰に聞けばいいのか、どこに行けばいいのか、参加する方法がわからないため、いつも母国の仲間とだけ付き合っている。

### 解決のヒント!

- ①そもそも避難所の存在や機能を知らない場合があります。そのような場合、災害時、日頃自分たちが集まっている母国料理のレストランや教会、モスクなどに身を寄せることが多いですが、十分な支援が行き届かない場合があります。日頃から避難所の場所などを確認するようにしましょう。
- ②外国人向けの災害時に利用できるツールが多くあり、存在を知っておくだけでも安心につながります。愛知県が、2019年2月に発行した「保存版 多文化防災ガイド」にその一部を掲載していますので、研修の中で適宜活用してみてください。



←「保存版 多文化防災ガイド」

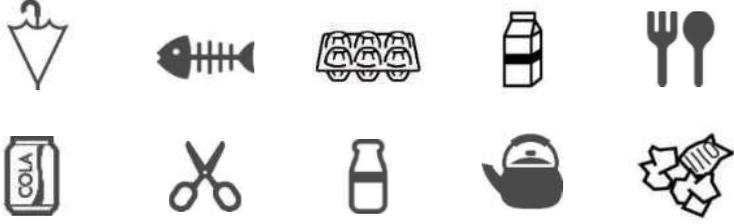
- ③母国で近隣住民との絆が強く、交流が盛んな外国人にとって、日本での生活は孤独でストレスが蓄積してしまう可能性があります。町内会、自治会が実施しているボランティア活動（草取りなど）やイベントに参加することで、近隣に誰が住んでいるのかを知り、安心することができます。「2～3年、出稼ぎのつもりで来たけれど、地域のイベントに出て、地域住民から『ありがとう』と感謝されたり、交流が深くなるにつれて、自分の住んでいる地域のことが好きになった」という外国人もいます。参加の意欲はあっても、自分だけでは勇気がでないということもあるので、一緒に参加するなどしてサポートしましょう。

だい しょう せいかつ じゅうぎょ わーくしーと  
**第3章 「生活する／住居」 ワークシート**

くに  
 国：

なまえ  
 名前：

ひ がつ にち ようび  
 日にち： 月 日 ( ) 曜日

<p>1                  みぎ なか も ごみ                  右の中で「燃えるゴミ」は                  どれですか。                  〇で囲んでください。</p>	
<p>2                  そうおん                  「騒音」について、                  やってはいけないことは                  どれですか。                  〇をつけてください。</p>	<p>よる じ そうじ き ( )                  夜、10時に掃除機をかけます。</p> <p>よる じ へ や ともだち いっしょ ( )                  夜、11時に部屋で友達と一緒に                  ぼー ていー ( )                  パーティーをします。</p> <p>でんしゃ なか おんがく き ( )                  電車の中で音楽を聞くと、                  へっどほん ( )                  ヘッドホンをします。</p>
<p>3                  りょう あぱーと つかかた                  寮・アパートの使い方                  正しいものはどれですか。                  〇をつけてください。</p>	<p>しゅうかん かい じぶん へ や そうじ ( )                  1週間に1回、自分の部屋を掃除します。</p> <p>だいどころ つか かなら そうじ ( )                  台所を使ったら、必ず掃除します。</p> <p>いえ なか くつ は ( )                  家の中で靴を履きます。</p>
<p>4                  し ぜん さい がい お                  自然災害が起きたときの                  ために右のことを確認して                  か                  書きましょう。</p>	<p>しよくば でん わ ぼんごう ( )                  職場の電話番号</p> <p>ひ なんじょ なまえ ( )                  あなたの避難所の名前</p> <p>ひ なんじょ じゅうしょ ( )                  あなたの避難所の住所</p>
<p>5                  まち ちょうないかい じ ち                  あなたの町の町内会・自治                  かい について、右のことを調                  べて書きましょう。</p>	<p>まつ うんどうかい ( )                  お祭りや運動会などの</p> <p>い べ ん と ( )                  イベント</p> <p>かいらんぼん よ つぎ わた ひと ( )                  回覧板を読んだら、次に渡す人</p>